

經濟論叢

第103卷 第2号

岡部利良教授記念號

献 辞	堀 江 英 一	
会計学的費用概念の論理構造	酒 井 文 雄	1
アメリカ鉄道独占の形成と公表会計実務	西 村 明	14
アメリカ動態論の生成基盤	津 守 常 弘	37
自己株式の会計	菅 原 秀 人	60
部分的取替の会計	高 寺 貞 男	76
架空利益排除と貨幣価値変動会計	中 居 文 治	93
法人税法上の会計処理基準の創設	河 合 信 雄	115
批判会計学の課題	野 村 秀 和	132

岡部利良 教授 略歴・著作目録

昭和44年2月

京都大學經濟學會



岡部利良

岡部利良教授肖像

岡部利良 教授 記念論文集

献 辞

岡部利良教授はきたる3月末に停年でめでたく御退官なさることになり、わたしたちの学会は岡部教授をお送りしなければならないことになりました。学会はその記念として本号を編集して、本学会のためにつくされた教授に本号をお贈りします。

岡部教授が本学経済学部に戻られたのは昭和22年でありまして、それからほぼ22年のながい間、経済学部で会計学関係の講義をもたれ、昭和35年からは会計学講座を担当されました。会計学の講義はふるくからありましたが、会計学講座担当教授は教授をもって嚆矢とするわけであります。しかも岡部教授は会計学のなかで独特の学風を開拓されて、わが国の批判会計学の方向をおしすすめてその指導的地位をしめられ、多くの研究者を育てられてまいりました。わたしたちの学会は、学問を通じて果された御指導に厚く感謝の意を表します。

岡部教授は苦学力行の人であります。私立早稲田工手学校夜間部・私立開成中学校夜間部をへて高等学校入学資格検定試験に合格して旧制第四高等学校に入学するという当時としては異例のコースを通して、本学経済学部に入學されました。経済学部御卒業後も、東洋経済新報社・大学院・建国大学・シベリヤ抑留という変化にとんだ苦しい人生行路をあゆんでこられました。教授の執拗なまでの一貫性と底抜けの楽天性はわたしたちを驚かすものがありますが、こうした強靱性は教授の苦しい生活行路のなかで鍛えあげられた鋼鉄でありました。教授はわたしたちの学部のなかで貴重なものでありました。

わたしたちの学会は、哀惜と感謝との念をこめて、岡部教授の御退官を見送ります。教授の今後の御健闘をお祈りするとともに、今後も学会をあたたかく見守っていただくようお願いします。

昭和44年1月15日

評議員長 堀 江 英 一